



Rotary 

Rotary International
District 2520
Hanamaki
Rotary Club

Weekly Report

BULLETIN

2022-23年度

会長：藤田勝敏

幹事：藤村弘之

会場監督：阿部一郎

会長IL外：吉田和洋

副幹事：市村 律

11月1日 第3297回例会

■本日のプログラム

例会進行：会場監督

1.開会点鐘	会長
2.ロータリーソング	
3.四つのテスト	
4.本日のプログラム/メニュー	親睦委員会
5.食事	
6.会長の時間	会長
7.慶祝	
8.委員会報告等	
9.幹事報告	幹事
10.出席報告	出席委員会
11.ニコニコボックス	ボックス委員会
12.連絡事項	
13.閉会点鐘	会長

■幹事報告

- ・地区大会連絡事項：ご出席の皆様へ
- ・地区大会記念ゴルフ大会 組み合わせ表-最新版-
〔ガバナー事務所〕
- ・RLI 研修パートI 参加者募集のご案内
〔RLI 委員長 柴田 茂〕
- ・世界ポリオデー参加の御礼
〔国際ローター-第2520地区 財団委員長 小野寺 則雄〕

■出席報告

32人中 **11名** (規定免除者7名)
出席率 44.4% 前回修正 70.3%

■メーキャップ

10/1 (土) 久慈 RC 創立 60 周年記念式典
三田 望君

10/20(木)ぬくまる食堂フードパントリー
藤田勝敏君・藤村弘之君・三田望君・浅沼幸二君・稲田典之君・佐々木史昭君・吉田和洋君・市村律君・地蔵堂友信君・藤岡秀雄君

10/23(日) POLIO 根絶チャリティ-ゴルフ大会・懇親会
藤田勝敏君・藤村弘之君・吉田和洋君・上田直樹君・橋川秀治君

10/23(日)2022-23 年度青少年交換(長期・短期)選考試験
佐々木史昭君

月間テーマ：ロータリー財団月間

四つのテスト 言行はこれに照らしてから

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、みんなの為になるかどうか

★★10/25のメニュー★★



刺身
白金豚ロースと茸の
オスターソース炒め
天ぷら 他

■今後の予定

11/8(火)ロータリー財団セミナー 講師 伊藤智仁パストガバナー(花巻南 RC)
担当 ロータリー財団委員長 佐藤良介君
11/15(火)会員卓話又はゲストスピーチ

■その他

11/4(金) 地区大会記念ゴルフ大会(メイプルカントリークラブ)
11/5(土) 地区大会役員懇談会(盛岡グランドホテル)
11/6(日) 地区大会本会議/懇親会(盛岡グランドホテル)
11/11(金) 市内 3RC 懇親ゴルフコンペ(盛岡南ゴルフ倶楽部)

■第3296回例会 10月25日 会長の時間

皆様、こんばんは。先ずは大変お忙しい中、先週の木曜日(10/20)ぬくまるフードパントリーへご参加頂いた皆様、そして一昨日(10/23)ポリオチャリティイベントへご参加頂いた皆様、大変ありがとうございました。特にポリオ関連はゴルフが朝の6:10分集合、懇親会終了が20時30分と一日がかりの大イベントでした。実行委員を務めた吉田エレクト、藤村幹事、お疲れ様でした。

既に吉田エレクトよりラインで報告がありましたが、地区第2分区の募金総額は427千円となりました。一人の子供をポリオ(小児麻痺)から完全に守る平均費用が3\$といわれておりますので、今回の募金で約950人の子供達を守ることが出来ます。一応、こちらが当クラブへの感謝状です。皆様のご協力に感謝申し上げます。

さて、本日は三田さんの御尽力により、ゲストスピーカーとして株式会社桜代表取締役復元納棺師おもかげ復元師笹原瑠璃子(ささはらるいこ)様にお越し頂いております。私も事前に笹原さんのユーチューブおもかげチャンネルにて「死者と会う方法」「お迎えの話」「岩手県のおすすめパワースポット(丹内山神社)(熊野神社)」等の動画を拝見させて頂きました。本日は直接お話を伺える機会を頂けるということで大変楽しみにしております。この後、三田さんからも笹原さんのご紹介があると思いますので、私の挨拶は簡単ですがこれにて終わらせて頂きます。笹原さん、本日はどうぞ宜しくお願い致します。

★慶祝★

会員誕生日 三田 望君(26日)
夫人誕生日 地蔵堂貴恵さん(5日 友信)、遠藤初美さん(21日 敦士)
立花真紀子さん(24日 徳久)、阿部秀子さん(30日 一郎)
結婚記念日 晴山正基君/みずほさん(1日)、橋川秀治君/史子さん(2日)
吉田和洋君/優子さん(4日)、小山田泰彦君/智美さん(22日)
藤田直之君/理恵さん(22日)
在籍表彰 立花徳久君(12年)、藤田勝敏君(6年)



■ゲストスピーチ (株)桜 代表取締役 笹原留似子様 要旨



三田さんからご紹介頂きました通りですが、ご遺体の専門職ということで会社を立ち上げて15年になるところですね。あつという間でした。プロフィールについて、少し紹介します。私の母は花巻市東和町の出身でございます。小さい頃は春休み、夏休み、お盆、冬休み、両親が共働きでしたので東和の山の中で夏はオニヤンマを追いかけながら、突風が吹けば天狗が来たぞと爺ちゃんに言われ、大自然と遊ぶのが小さい頃から大好きでした。そのご縁もあって今は民俗学という学術も研究させて頂いております。

特に岩手県は世界中の民俗学者の方が見えて研究されているということもあって、岩手にいる間は本当に毎日楽しく過ごさせて頂いております。母は僧侶で父は公務員でした。ご先祖さんは東和の山の中でお寺をやっておりまして、今は小さなお寺ですが藤原氏の末裔ということもあって、いろんな昔話が伝わっているお寺です。先祖が山伏で母方の方は宗教者だったということもあって、小さい頃から「生きること」「死ぬこと」ということをずっと聞いて育ってきました。父方の曾祖父が銭函という小樽の近くの町長さんで、町長在職中にちょうどニシシが取れなくなって町がどんどんダメになっていき、たくさんの自殺者が出ました。そして米や味噌を集めるのが精一杯だったということで、笹原の浜を売り、たくさんの方々から支援をいただいて、なんとか町を運営していたという話を笹原の一族から聞いて育ちました。会ったことのない曾祖父の話聞いて育ったおかげで、東日本大震災では何度も何度もその曾祖父の話を思い出しながら、すごく勇気をもらい背中を押してもらったなと思います。本当に自分のご先祖様の話を聞いただけですが、こんなにたくさんの知恵をもらえるとは思っていませんでした。そのおかげで震災の時には一方的にケアをする立場ではなく、共にその場をなんとか切り開いてそして共に歩んでいきたい、ご遺族の皆さんとご縁を頂いた時にはそう思いました。私は警察管轄の安置所の中におりましたけれども、ここは全く日が当たらない場所と言われていました。私が回った岩手県の大きな安置所はいくつかありましたが、一番大きな安置所でご遺体が600名安置されておりました。その時にこういう仕事をさせてもらいながらも初めての経験ということで、「もうやるしかない。とにかく泣いてる人をほっとくだけはやめよう」そう思いながら、かける言葉もないけれど、そばにいるからという声をかけて歩いたのを今でも思い出しています。

その災害の活動から、大学の災害専門のお医者さん達と一緒に新しくチームを作りました。現在、そこでの経験とチームの活動の中で全国各地、警察や海上保安庁の皆さんなどを含めて感染管理指導課などもさせて頂きながら、様々な活動をさせて頂いています。そして、岩手県内・県外の様々な災害訓練に出動させて頂いています。民間では一社だけです。この写真はその一部ですが、こちらは岩手県内の災害訓練の様子です。あの時後悔したことを次の災害で絶対後悔したくないから、たくさんの様々な機関とつながりながら一人でも多くの人の命を助けるために、みんなまで必死に訓練させて頂いています。岩手県の場合は知事が総監になって、10月29日に大船渡市で大規模災害訓練が行われます。私も岩手医大と警察本部のチームとして出動してきます。岩手県は凄くて岩手医大の災害専門の先生もたくさんおられますので、岩手県は他の県よりも災害に対し凄く進化していると言われてます。岩手医大の先生達も岩手県警の皆さんも実は全国に講演・指導に行かれる方が非常に多くて、同じチームの中に入れてもらっているいろんな提案をさせて頂きながら、次に備えております。災害はない方が良いです。でもあります。国で発表されてしまった以上は、もしかして私が死んじゃうかもしれないので、その技術は惜しみなく覚えたいという人たちに業種を問わず指導させて頂いております。引き継いでくれた人たちが、また誰かのために進化させてくれたらいいなという思いで惜しみなく教えているので、同業の皆さんにはそんなに教えないで欲しいと結構怒られたりすることも多かったです(笑)でも、技術は本当に教えてくれる人がいなかったら独学でここまでやってきました。私は亡くなった人に育ててもらったと思っています。今の話の内容を含めて、皆さんのお手元に「さくら通信」というものを配布させて頂いておりますので、ぜひお時間のある時にご覧いただければと思います。~中略~

最後の話になりましたけれども、人は死んだらどこに行くのかという民俗学の学術を皆さんと一緒に共有させて頂きながら、終わりにしたいと思います。

■第3296回ニコニコボックス

【藤田勝敏君】本日は、笹原様、貴重なお話ありがとうございました。みんなでyoutube「おまかせチャンネル」登録しましょう。

【阿部一郎君】笹原様、本日はゲストスピーチ頂きありがとうございました。復元納棺師として今後も沢山の人の心を癒してほしいと思います。

【藤原喜子君】本日は、(株)桜 代表取締役の笹原様、ゲストスピーチありがとうございました。そばに居ますからとの、お声かけにご遺族の方がどんなに救われた事でしょう。お子さんが、お医者さまと災害専門の自衛隊員になられてお母様の遺志をしっかりと継いでいて素晴らしいです。亡くなられた大切な家族を思い続ける、亡くなった家族が生きている家族を支えているという言葉が死者に対する作法という言葉が心に残りました。

皆さん、人は死んだらどこに行くと思いますか？民俗学の学術の中では三途の川と言われてます。三途の川ってそう簡単に渡れないようになっていて、どういことかと言うと、こういう人がいると言われてます。奪衣婆と懸衣翁です。これは民俗学という学術の話です。これはお経の中には何も書いていません。「往生要集」という民俗学の書籍にしか残ってない、巻物に残っていたものが現代に伝わっているという話です。この奪衣婆に絶対見つからない場所に隠して持たせてあげるものがあります。納棺の時。聞いた事ある人もいるかもしれませんが、何かというと、実は「隠し銭」というものです。隠し銭という風習があって、亡くなった人のために持たせてあげるお金です。絶対見つからないのが「足元」なんですね。今は火葬場が黒い煙の出るものが禁止になっていますから、心を込めると本物になるということでご家族が紙に書いたお金を入れます。好きな金額を書けるので、皆さん平均大体1億円ぐらい書かれますね。さて、今日の話は終わらせていただきたいと思います。皆様このコロナの時代に生きておられるということは、きっと皆様一人一人にしかできない使命をお持ちで生きておられるのだと思います。これからの益々のご活躍を心からお祈り申し上げます。今日の話が終わらせていただきます。ありがとうございました。

第31回 めくまる食堂フードパントリー実施報告(簡易版)

- 申込世帯数：52世帯(継続:50世帯、新規:2世帯)
- 参加者：会員10名・菊の会5名 ■お手伝い様：社協様2名
- ボランティア様：13名
- (マーマフーズ様3名、島様、小原様、阿部様、花巻北高生3名、花巻南高生2名、グルージャ盛岡福田様、他1名)
- ご寄付・ご協力者様(順不同)
- 生協(生活協同組合連合会コープ東北サンネット事業連合)様
- 美多加堂様・中央水産花巻様・やまそう様・J Aいわて花巻様
- モランボン(株)様・インクルいわて様・ファミマ鍋倉店様・岩手雪運(株)様
- (株)焼肉冷麺・ヤマト様・(株)エヌワイエス様・マーマフーズ様・コープ花巻あうる様・むすびえ様・こどもの居場所ネットワーク様・いわてグルージャ盛岡様・茶寮かだん様・めし屋タカハン様



花巻ロータリークラブ
<<事務局>>
花巻市花城町10-27
花巻商工会議所
TEL/FAX 0198-41-1133
e-mail:hrc@hanamaki-cci.or.jp
URL:http://www.hanamaki-rc.com